

津島市社会福祉協議会だより

Vol.53

ボランティア活動 応援助成 はじまります！！

このたび『津島市ボランティア活動応援助成事業』として
ボランティア団体主催の津島市内で実施する事業に
助成金を交付させていただくことになりました。

公開プレゼンテーションによる審査会は各地で開催されてきており、

- ①さまざまなボランティア活動をさらに活発に！
 - ②財源である赤い羽根共同募金のPR・募金の有効活用
 - ③団体と団体の交流
- を目的としています



日時：

平成27年2月28日（土）

午後1時～

津島市社協には平成26年11月～平成27年1月までの
募集期間に4団体の申請があり、第1次審査である書類審査
を通過されました。

場所：

津島市総合保健福祉センター

2F福祉活動室

2次審査は一般公開にてプレゼンテーション
（活動発表）を行っていただきます。

みなさん、ぜひ見学に来てください！！

DVD貸出 しています！！

地域福祉の発展充実を図るため、福祉・災害
関連DVDの貸出をしています。

津島市在住・在勤の方、及び市内教育関係等
機関・団体。貸出期間は1週間、
利用料は無料です。



おすすめ作品

- ◎災害時被災者を応援しています
～じぶんの町を良くするしくみ～ 19分
- ◎聴導犬はわかり DVD part2
ユーザー編 23分
- ◎補助犬ってなあに？ 19分

つしま＊げんきボランティアさんへ
お知らせ

お
忘
れ
な
く
！

ポイントの交換が始まっています。
26年のポイントを地域振興券へ交換
又は登録機関へ寄付することができます！
交換期限：平成27年3月31日（月）
持ち物：26年のスタンプ帳
（うまのイラスト）
朱肉を使う認印



【お問い合わせ先】

津島市社会福祉協議会
津島市上之町1丁目60番地
（総合保健福祉センター内）
電話・FAX 25-8411
<http://www.tsushima-shakyo.or.jp>



2015.2

阪神・淡路大震災から20年 忘れないで!!

阪神・淡路大震災から1月17日で20年、東日本大震災から3月11日で4年になります。

この大きな被害をもたらした震災については、これからも忘れてはいけません。被災者の方々の体験を生かし、役立て、今後も起こりうるであろう震災に備えましょう!

1月17日(土)に開催された防災とボランティア週間講演会『阪神・淡路大震災から20年~未来に向けて、今私たちができること~』にて「私たちの住む中部地方は「活断層密集地帯」であり、最近では、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されています。近い未来に大地震を経験するかもしれません。」とのお話がありました。

そこで、災害に備えるための情報をお伝えします。

備えるために・・・

★家具の転倒防止対策

いざという時に、命を守り、避難の妨げにならないように、家具の配置を見直し、固定することが大切です。費用的にも安価で取り組みやすい有効な対策です。

★非常持ち出し品・備蓄品の用意

「非常持ち出し品」と「備蓄品」を区別して用意しましょう。

- ◇ 非常持ち出し品：避難するときに持ち出す必要最小限のもの
ティッシュ、タオル、除菌シート、マスク、充電器、印鑑、現金、懐中電灯、ライター、下着、手袋、ラジオ、食品、ヘルメット、電池、健康保険証コピー、水、めがね、コンタクト用品、生理用品など



家族構成に応じた備えも必要です

乳幼児：紙おむつなど 疾患のある方：持病の薬など

高齢者：入れ歯など ペット：ペット用食品など



- ◇ 備蓄品：自宅で生活するためのもの

ウォータータンク、カセットコンロ・ガス、調理用水、生活用水、飲料水(1日3ℓ)、食料(アルファ化米・缶詰・レトルト食品・お菓子・栄養補助食品など)、缶切、毛布、ろうそく、簡易トイレ、ウェットタオル、救急セットなど

☞東日本大震災が起きるまでは食料と飲料水(1人1日3ℓ)が基本でしたが、震災後の救援物資は2週間経っても全く足りない状況でした。長期保存できる食料品の買い置きを増やし、使った分だけ補充する「家庭内流通備蓄」を習慣化しましょう!

もし震災が起きた時には・・・

★家の戸締りを忘れずに!(空き巣や、火災の延焼を防ぐため)

★ガス・水道の元栓を閉める

★電気のブレーカーをOFFにする(電気が復旧した時に、壊れたり倒れた電化製品に通電して火災が発生することを防ぐため)

★玄関に「全員無事です」というメモを貼る
(探しに来た人に無事を伝えるため)

